

第19回日本スカウトジャンボリー（19NSJ） 石川県連盟派遣団

派遣団編成総数 131名【指導者・RS 41名、スカウト90名】

派遣団本部	5名	指導者	5名
派遣隊	101名	指導者	10名
		RS	1名
		スカウト	90名
		〔BS	70名〕
		VS	20名〕
大会運営スタッフ	25名	指導者	20名
		RS	5名

※RS = ローバースカウト(大学生～25歳)

VS = ベンチャースカウト(高校生)

BS = ボーイスカウト(小6～中学生)

1 派遣団本部

派遣団長	手井博史(理事長)
	中部ブロック運営の副サブキャンプチーフ
副派遣団長	福島日出夫(名誉会議議員)
ほか 派遣団総務	1名
派遣団提供プロ	2名

2 派遣隊

石川第1隊 隊長	山崎貞紀(理事)
ほか 指導者	4名 *うち2名は交代参加(前半、後半)
スカウト	36名(BS28名、VS8名) 計 41名
石川第2隊 隊長	高野靖史(理事)
ほか 指導者	3名
スカウト	36名(BS29名、VS7名) 計 40名
石川・富山隊 隊長	東本晃典(理事)
ほか 指導者	1名
スカウト	18名(BS13名、VS5名) 計 20名

※富山県連盟20名(指導者2名、スカウト18名)と混成

3 大会運営スタッフ

指導者、RS	25名
--------	-----

参考 第19回日本スカウトジャンボリー（19NSJ）の概要

ジャンボリーとは ボーイスカウトのキャンプ大会で、一つの国または地域的・国際的・世界的規模で開かれるものをいう。
人種・宗教・言語・習慣の違いを超えて、広くスカウトの交流と親善を深めるために開催されている。
日本スカウトジャンボリーは1956年から、4年に1度開催されている。

名 称 第19回日本スカウトジャンボリー（19th NIPPON SCOUT JAMBOREE：19NSJ）

大会テーマ 挑戦 ～神石から未来への一歩～

CHALLENGE - A STEP INTO THE FUTURE FROM JINSEKIKOGEN

スカウト一人ひとりがジャンボリーを通じて、未来に向かって力強く歩みを進めるような新たな挑戦をしてほしいという願いが込められている

会 期 2026年8月4日(火)～10日(月) 6泊7日 野営

8月 1日(土)	先発スタッフ入場・設営
8月 2日(日)	大会運営スタッフ入場・設営
8月 3日(月)	準備作業
8月 4日(火)	参加者入場・設営、開会式
8月 5日(水)	プログラム
8月 6日(木)	プログラム
8月 7日(金)	信仰奨励行事、ジャンボリー大集会
8月 8日(土)	プログラム
8月 9日(日)	プログラム、閉会式
8月10日(月)	参加者撤営・退場
8月11日(火)	大会運営スタッフ退場

大会規模 総参加者数 8,000人

スカウト：4,800人、指導者：1,200人

海外・関係団体：400人、運営スタッフ：1,600人

ボーイスカウトおよびベンチャースカウトを参加の主体とし、活動を支援する成人指導者とともに派遣隊を編成し、成人・青年の大会運営スタッフにより運営される

主 催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

会 場 広島県 神石高原町

仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺



一般社団法人神石高原町観光協会提供

- ロゴマーク 大会のテーマである「挑戦 Challenge」の旗を高く掲げ、未来へ踏み出すスカウトの姿を表している。
- 中央にある「19」は、未来への”一歩”を表すマークで、開催地である神石高原を示すマップピンの形をした「9」を組み合わせたデザイン。
- 全体の形は、雲海に包まれた天空のキャンプ場でスカウトが元気いっぱいに活動する様子を表現し、仲間とともに自然の中で挑戦し、成長していくジャンボリーの空気感が詰まっている。



会場マップ



参加者（各県連盟の派遣隊）は、4つのサブキャンプ（J i N S e K I：神石高原）に分散して配置される

- JOURNEY：関東ブロック運営
- NATURE：近畿ブロック運営
- SKYLINE：中部ブロック運営
- KIZUNA：中国・四国ブロック